

健康福祉部会 会議録

（出席者） 委 員：11 名
事 務 局：4 名（戦略部会員：3 名、政策推進課：1 名）
ア ド バ イ ザ ー：1 名
ファシリテーター：1 名

（会議の内容）

1. はじめに

資料 1 に基づき、第 4 回まちづくり市民会議（第 3 回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

資料 2 に基づき、第 5 回まちづくり市民会議の検討の進め方について事務局から説明しました。

2. グループワーク

第 4 回まちづくり市民会議（第 3 回部会）で抽出された「健康福祉分野の課題」の解決策をテーマに、2 グループに分かれて K J 法によるグループワークを行いました。

■メンバー

	グループ 1	グループ 2
委員	小野田委員、松本委員、山田委員、 山内委員、大岩委員、尼崎アドバイザー	仲井委員、鈴木委員、加子委員、佐藤委員、 角田委員、鈴木委員
事務局	小久保、飛安	山本、鎌田（J P 総研）

3. アドバイザー総括（尼崎アドバイザー）

今日聞いて思うのは、解決の方法とは、人とのつながりであり、それをどのように提案して深めていくのかである。健康福祉部会では、市民・地域・行政のつながりをいかに強めていくかを考えていかなければならないと感じた。

4. その他

次回開催日程は、6 月 27 日（水）19：00 からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後 1 週間を期限に、提出をお願いしました。

グループ 1

市民

地域

行政

課題 5

認知症高齢者への支援・予防対策が必要

目印になる布や光るもの等を服・くつ等の位置へつける

地域の役員、民生委員などの手を借りて、この家には認知症の人がいると、校区や地区で知っておく

携帯のGPS。個人情報で×か

相談窓口
介護の認定をどこでしているか。誰に言えば良いのか
何でも相談できる窓口を市につくる

課題 4

見守りが必要な人(高齢者など)が今後もっと増える。地域で見守るしくみが必要

見守りボラ
見守り隊。小学校の行事を有効に老人が子どもと通学見守り(同居対策)
少額での有償ボランティア(団塊世代の活躍)

個別に高齢者を見守る事ができないか。誰が住んでいるのか、わかっているのか、わかっていない

相談窓口
シルバー人材センターの登録時に得意分野を記入

課題 7

団塊の世代の生きがいづくりが必要

生きがいは自分で見つけるもの(行政が押し付けられない)
市民館で子どもに将棋を教える
活性化のために空いている農地を利用し、各地域でカボチャ、ハチマ等を作って品評会等を行い、表彰等行う

市民農園、休耕地をシェア

ラジオ体操
団塊の世代、老人クラブがラジオ体操を主催
夏休みのラジオ体操を地区ごと三代でもつとががんばって、今は日数が少ない
緑のカーテンでゴーヤマイスター→広がってる(エコ)→料理も考える
お茶・お花の先生など特技のある人を有効活用

音楽の行事があるとうい
スローガンを発信せよ。障がいのない者の義務、健常者ならば

課題 10

障がいのある人が働ける場、サービスが不足している。障がいに対する周囲の理解が足りない

マイスター・ティーズ活用
ボランティアのポインティング制は
ポインティングのポインティング制は
マイスター制度
(年齢制限付き)00大会を主催する(自尊心を高める)

ニュースポーツ
田原市の特性を活かしたニュースポーツを地域と行政が協力して考案する
田原市の特性を活かしたニュースポーツを地域と行政が協力して考案する
地域で農業スポーツ大会のようなイベントを開催(ジャポンゴーヤ・カボチャ)

課題 2

田原市の特性を活かした健康づくり活動ができないか。(農業・スポーツなど)

小学校
田原市の小学校区での運動会を運営する
小学校を核とせよ(子ども)

マイスター・ティーズ活用
マイスター制度
ポインティングのポインティング制は
ポインティングのポインティング制は
マイスター制度
(年齢制限付き)00大会を主催する(自尊心を高める)

市民

地域

行政

課題 8
子どもの周りを安全な環境にすることが必要

課題 6
地域のみんなが集まることができる場所や、多世代の接点が必要

課題 1
医師が不足している。(特に産婦人科、小児科、精神科)

課題 3
健診(検診)の受診率を高める必要がある

課題 9
保育・子育て支援サービスが不足している。子育てに対する理解が足りない

課題 11
市域が広大なので、通院・買い物などで交通弱者が苦勞している

子どもの安全

自然の遊び場で安全に遊べるようにレジャーチャーター

学校の先生など登下校の時見回りしてもらい、子どももの危険性を再確認してもらおう。行政との話し合い

総合地域スポーツクラブの運営

市民館の活用

市民館で老人が子どもと触れ合う(○○つくり)

市民館を拠点にシルバーサロン移動児童館事業での交流を

スクールゾーン整備

スクールゾーン周辺の路上喫煙禁止の取り締まりを行う

路上喫煙禁止条例の制定(スクールゾーン)

スクールゾーン周辺の路上喫煙を行政が主体となり取り締まりを行う

スクールゾーンを「路上喫煙地区」に指定する。条例で

スクールゾーン周辺の交通量を測定し時間帯で交通禁止にする

通学路の舗装(緑)を標識X、道路に色を

医師

支援制度があると思うが

医師を呼び込むために医師に対して市税の減税を行う

医師奨学制度の継続

健診

友人・家族で誘い合って健診(検診)を受ける

健診の受診者に対して市税等の配慮を行う

子育て支援

ファミリーサポートの充実を。自分の子育てが終わりがきた方に登録して時間をゆとりができた方に活躍をお願いたい。地域で活躍することできている

交通

高齢者が多く近隣にお店がない地区には移動販売車が来ると良い

地域の(校区の役員等)とりまとめ等をしてもらい、ぐるりバス等交通手段の必要性を知らしめる

タクシー券、福祉有償運送補助券の運用緩和

グループ2

課題 4

見守りが必要な人(高齢者など)が今後もっと増える。地域で見守るしくみが必要

課題 8

子どもの周りを安全な環境にすることが必要

課題 6

地域のみんなが集まることのできる場所や、多世代の接点が必要

課題 2

田原市の特性を活かした健康づくり活動ができないか。(農業・スポーツなど)

課題 7

団塊の世代の生きがいづくりが必要

課題 11

市域が広大なので、通院・買い物などで交通弱者が苦勞している

課題 12

支援が必要な人(生活保護世帯など)に制度が十分に知らされていない

市民

農林ピック、うなづくり競争、キャバツ高積み競争。市観光・JA

昔とったきねづか名簿作成、ボランティア活動へつなげる。社協、職能組合

生涯学習教室の充実(知ってもらう必要がある)行政に頼りすぎ、個人でやってもいいかも

参加者が参加しやすい教室(現場見学型)つまみ食いの的に気軽にいける

シルバー人材の活用、常に仕事がある状況を作る

生きがいづくり、コーディネートが必要。楽しんでる老人に学び、仲間を増やす個性化重視

地域に天下り作戦

団塊世代の人たちに交通弱者のフォローを依頼

個別サポーター制度、市役所職員ではない人

地域

行政

回覧板の活用、渡しに行くとついでに顔を見る。→つながりができる。知って欲しい情報を広めるツールになる

小学校にて“ちよいボラ”アイデアコンテスト。事前に助け合いボラの講演をする。教育委員会・PTA

登下校の見守りを充実させる為に定年を迎え仕事に就いていない方へ、見守りボランティアを募りたい

子ども議会。子どもの目線で意見発表

高齢者・子ども「暗算コンテスト」の開催

クワガタ採りツアー

公の場はイメーajが悪い。民間施設の利用もOK

老人(元気な)が気軽に集まる場所の確保→協力を頂ける民家を探す。住民が交替で当番をする

公民館の活用・開放

昔の「豆腐屋さんの」のよな移動販売

地域の空き店舗や公民館にてカタログショッピング(ネット通販) 協

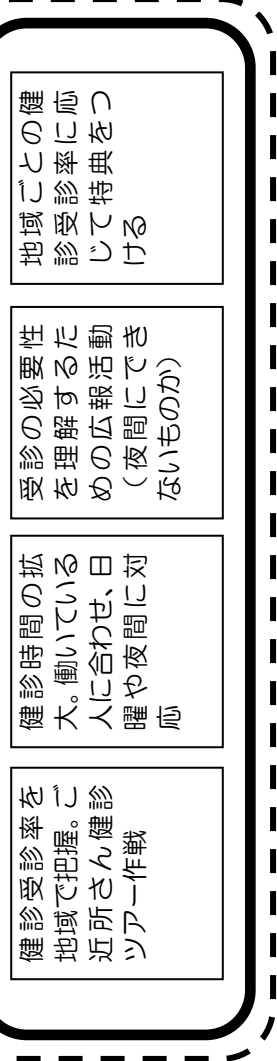
市民

行政

地域

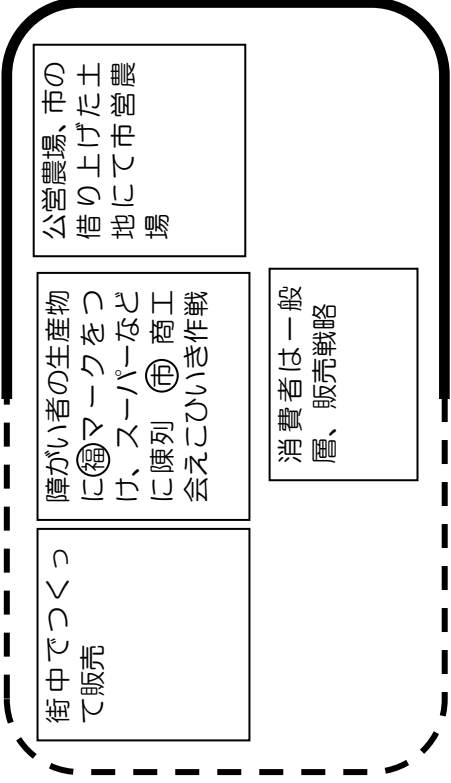
課題 3

健診(検診)の受診率を高める必要がある



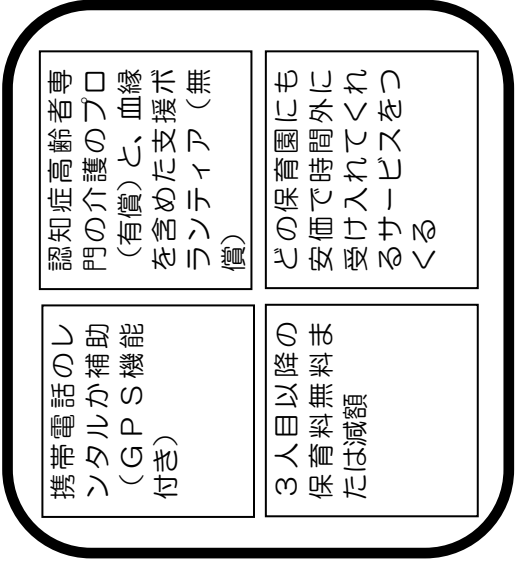
課題 10

障がいのある人が働ける場、サービスが不足している。障がいに対する周囲の理解が足りない



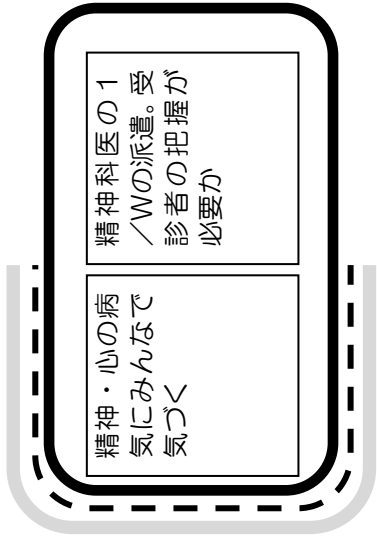
課題 5

認知症高齢者への支援・予防対策が必要



課題 9

保育・子育て支援サービスが不足している。子育てに対する理解が足りない



課題 1

医者が不足している。(特に産婦人科、小児科、精神科)